

インターンシップ出発式 挨拶（三方よし）

改めまして、おはようございます。

皆さんは、今学期3年生0学期と言われるこの時期に、以前から準備していたインターンシップの体験が始まります。中学校でも経験があるかと思いますが、今年就職試験を受験予定の皆さん、または自分の特性を伸ばすための学校選びを行う皆さんの参考になるなど、このインターンシップが進路実現に向けて、大切なプログラムになると思います。

4月には、進路についての三者面談が行われ、9月には試験が始まります。

その後、企業は、皆さんにとって、将来の生活の基盤となる仕事となりますが、会社が社会にどのような役割があって存在するかを知った上で、就職活動を行うことは大変重要なことです。

将来のため、試験のためだけを考える自分軸と、会社の存在やそこで働く人の役割を果たそうとする他人軸に繋がりが無いと、力をどの様に発揮して良いかつまづくことになります。

今日は、会社が社会に対してどのような理念をもって創業しているか理解してもらった上で、明日からのインターンシップに取り組んでももらいたいと考えています。

「地域社会」「相手」「自分」の3つの良しについて、それぞれ考えたことはありますか。

その「三つのよし」とは、

- (1) 「地域社会」が、会社の取組によって活性化され喜んでもらえる仕事。
- (2) 「(消費者など)相手」が、会社の製品によって幸せになること。
- (3) 「自分や社員」が、喜んでもらって自分たちの存在意義を高められることと同時に、利益によって会社存続・新製品開発により、また一層喜んでもらえる取組ができることや、自分の家族を養うことができること。

この「三方よし」で、三方が豊かになることが会社の存在価値であり、その一員となるべく同じ価値観で働いてくれる方を探しているのが採用試験です。

普段から明るく活気ある皆さんが、先方の仕事についてなど、色々なことを尋ねつつ「明るく、元気に、澁刺と取り組む」ことで「喜んでもらえる」インターンシップにできたなら、皆さんの職場での「存在価値」と「思い出」を残せるインターンシップになるでしょう。

最後に、皆さんにとって、意義有る取組となることを期待して、出発式の挨拶といたします。